

農業技術の発展と食卓への繋がりを感じる旅~酪農コース~

学習要項

●学びのコンセプト

手絞りから始まった開拓時代の十勝の酪農から現代の大規模化へと変わっていった歴史に触れ、人々の苦勞と工夫の積み重ねの大切さを学びます。毎日新鮮な牛乳が飲めるために、家畜動物と言われる乳牛は計画的に妊娠・出産を繰り返しています。ICTの力で個々の牛のデータを管理する時代になり、搾乳機械も大型化に伴って様々な進化を遂げています。技術が人を助け、私たちの食卓につながっていることをダイナミックに感じていただけます。

●期待される行動・効果

- ・食への関心が高まります
- ・十勝の歴史や風土を知ることが出来ます。
- ・生きるための知恵や工夫を考える、物事を深く思考するきっかけをつくります
- ・農業=生産だけではない、視野の広さを感じる事が出来ます。

●実施概要

- ・対象：小、中、高校生、社会人（年齢に応じて内容をアレンジします）
- ・受け入れ可能人数：10名～40名 それ以上は応相談
- ・所要時間：半日(3時間)～1日(6時間) ※宿泊先紹介もできます
- ・金額 4500円～内容に応じて応相談
- ・服装・持ち物：動きやすく汚れても良い恰好、運動靴、帽子、飲み物
- ・雨天時の代替プログラム実施可能（施設内での調理体験やクラフト体験）
- ・食アレルギー対応可能。ご相談ください。

●タイムスケジュール詳細（モデルコースの場合） バス移動、40名を想定

時間	場所	体験内容 備考
8:30	出発	宿泊場所によっては出発の時間は前後します
9:00	とち大平原交流センター(室内)	到着 お手洗い、移動
9:10	〃	オリエンテーション(動画)
9:40	とち農機具歴史館(室内)	農業機械の説明、見学
10:10	とち大平原交流センター(屋外)	記念撮影
10:20	とち農機具歴史館(室内 or 屋外)	バター作り
11:00	とち大平原交流センター(屋外)	豚井づくり体験
11:40	とち大平原交流センター(屋外)	昼食、自由時間※外でも中でも食事可能
12:40	出発	お手洗い全員済ませる
13:00	生産農場	農家との交流、搾乳体験、最新の機械見学、説明
14:30	出発	途中お手洗い休憩
15:00	八千代牧場	放牧酪農の見学
15:30	出発	

ご要望に応じて、半日に変更、体験を増やすことも可能です。お気軽にご相談ください

●各施設の所在地

- ・とち大平原交流センター、とち農機具歴史館

住所:〒089-1182 帯広市川西町基線 61-13 TEL:0155-53-4780

センターURL:<http://www.city.obihiro.hokkaido.jp/nouseibu/nouseika/daiheigen.html>

歴史館 URL:<http://www.city.obihiro.hokkaido.jp/shisetsuichiran/a60noukigurekisi.html>

- ・八千代公共育成牧場

住所:〒080-2336 帯広市八千代町西 4 線 187 番地 1 TEL:0155-60-2747 FAX:0155-60-2374

URL: <http://www.city.obihiro.hokkaido.jp/nouseibu/nouseika/yachiyokoukyoubokujyou.html>

●お問い合わせ：帯広ファームトリップ推進協議会コーディネーター担当 (株)いただきますカンパニー

電話:0155-29-4821/FAX:050-3730-5127 Email:info@itadakimasu.cc